

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	蒲田駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	世界への玄関口となる羽田空港を活用し、大田区の中心拠点にふさわしい魅力と活力あるまち蒲田をめざします。そのため、交通結節機能*を充実し、都市機能を更新するとともに、まちの安全や景観の向上に取り組みます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
将来構想の調整・策定		→					
蒲田駅周辺地区ランドデザインの推進			→				検証
旧逆川の整備		→					完了

所管部局	まちづくり推進部、都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【蒲田駅周辺地区ランドデザインの推進】</p> <p>○蒲田駅周辺再編プロジェクト素案のパブリックコメントや地元との意見交換を踏まえ、蒲田都市づくり推進会議を開催（4回）して、素案の修正等を行い、蒲田駅周辺再編プロジェクトを確定するとともに、再編プロジェクトに示した初動期の整備について具体化の検討を行いました。下部組織の駅周辺交通調整部会（駅開発検討部会名称変更）の開催（2回）や関係事業者との個別協議により、蒲田駅周辺再編プロジェクト確定に向けて意見交換を行い、合意形成を図りました。</p> <p>○東口駅前広場、地下自転車駐車場の都市計画に向けて、関係機関、関係事業者等と調整を行いました。</p> <p>○再編プロジェクトの初動期整備で示した西口駅前広場整備の具体化を図るため、地元関係者を中心に構成する「西口駅前広場検討部会」を立ち上げ、第1回検討部会を開催し、整備の主旨、今後の進め方等の説明及び意見交換を行いました。</p> <p>○地権者を対象とする駅前街区全体会を開催（2回）し、駅前街区のまちづくりに関する勉強会を実施しました。街区毎の地権者で構成する街区部会（3部会）を開催し、個別課題の整理や建替え手法、今後の方向性等の検討を行いました。平成25年11月8日には、北千住駅周辺地区における駅前再開発や新たに開設した大学との連携による商店街活性化事例の視察を行い、まちづくりイメージの共有を図りました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページにつづく）</p>	4	

(前ページからの続き)		
<p>○まちづくりニュースを地権者へ送付し、蒲田駅周辺公共基盤整備の検討状況や地権者勉強会等の情報提供を行いました。</p> <p>○地区まちづくり協議会、町会・商店会関係者等に蒲田駅周辺再編プロジェクトの説明や意見交換を行い、駅前広場を中心とする公共基盤整備についての理解と協力をお願いしました。</p>		
<p>【旧逆川の整備】</p> <p>○街路整備工事（延長 210m）を、予定どおり竣工しました。</p>		4
決算額	234,908,160 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名		大森駅周辺のまちづくり					
主な取組内容		歴史と文化と浜風のかおる、にぎわいと交流のあふれるまち大森をめざした駅周辺のまちづくりを推進します。(仮称)大森北一丁目開発により、区有地を有効に活用し、大森のまちのにぎわいを創出する拠点として複合施設を整備します。					
(平成/年度)		21	22	23	24	25	26～30
基本調査による将来構想(案)の検討・策定		→					
将来構想の調整・策定			→				
大森駅周辺地区グランドデザインの推進				→			検証
(仮称) 大森北一丁目開発	民間事業者による複合施設の建設	→					
	民間事業者による複合施設の管理運営			→			継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【大森駅周辺地区グランドデザインの推進】</p> <p>○大森駅西側地区の地権者組織「大森八景坂地区まちづくり協議会」による検討委員会の開催（11回）を支援し、「大森八景坂地区まちづくりの目標・方向性」が取りまとめられました。それを踏まえたまちづくり計画案（絵姿）の検討を支援するとともに、まちづくり計画案に反映するための「都市基盤施設整備計画」を検討・整理しました。</p> <p>○まちづくりニュースの発行等、検討委員会による検討状況などに関する情報提供を支援しました。また、地権者を対象とした全体会で確認された「大森八景坂地区まちづくりの目標・方向性」について、地権者への個別訪問等により周知・説明を支援しました。</p> <p>○地権者組織とともにまちづくりの当事者となる「地域住民」の声を聞くため、関連する自治会・町会及び商店街を対象に「大森駅西側駅周辺のまちづくり地域懇談会」（3回）等を開催しました。</p> <p>○アクションプランに関連する区事業全体の取組状況及び成果を確認し、大田区ホームページで公表しました。</p> <p>○地域の活性化に寄与する取組みとして、平和島競艇場護岸管理通路について、平和島駅周辺地区まちづくり協議会による整備に関する陳情が区議会定例会にて全会一致で採択されたことを受け、基本計画を検討しました。また、通路沿道のマンションの住民を対象とした意見交換会を開催（2回）しました。</p>	4	

<p>【(仮称) 大森北一丁目開発－民間事業者による複合施設の管理運営】</p> <p>○大森複合施設ビルのにぎわい指標としてテナントのレジ通過数を設定し、区施設及び民間施設の利用者数等と合わせて運営状況を把握しました。</p> <p>○関係部局や事業者による検討組織「Luz 大森（大森複合施設ビル）魅力向上部会」を開催（4回）し、問題点の整理や解決策を検討したうえで、可能な解決策を実行しました。</p> <p>○大森複合施設ビルの信託受益権について、合同会社大森開発よりパシモン特定目的会社に譲渡されることとなり、譲渡に関する承諾、承諾条件の確認、事業契約一部変更契約書及び事業契約承継覚書の締結を行いました。</p>	<p>4</p>
<p>決算額</p>	<p>22,706,635 円</p>

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	身近な地域の魅力づくり						
主な取組内容	私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力と活力がみなぎるまちを推進するため、安全で快適な歩行空間を確保し、地域活性の拠点となる整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
地域まちづくり拠点整備		→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取組み内容		進捗状況
<p>【地域まちづくり拠点整備】</p> <p>○大田区画街路 1 号線事業に伴う目黒線蓋かけ工事委託を行いました。</p> <p>○電線共同溝（延長約 420m）及び道路詳細設計委託（延長約 120m）を行いました。</p> <p>○用地買収の取得状況により、工事範囲を縮小し電線共同溝整備工事（延長 109m）を行いました。</p> <p>○復元測量、管理舗装（管理舗装面積 80 m²）を行いました。</p>		4
決算額	2,218,467,320 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-1 魅力と個性あふれる都市をつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業における駅周辺のまちづくり						
主な取組内容	京浜急行線連続立体交差事業を契機に、京急蒲田駅西口、糀谷駅前及び雑色駅の周辺地区において、駅前環境や住・商業環境の整備、防災機能の向上等を図るため、市街地再開発事業*等による整備を目標とする、関係権利者組織の活動を支援します。あわせて、駅前拠点の整備における公共サービスの提供について、方針や可能性などの検討を行います。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
再開発等事業化支援(3地区)							完了 (26年度)
公共サービス提供に関する検討							

所管部局	連続立体事業本部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【再開発等事業化支援（3地区）】</p> <p>◎京急蒲田駅西口周辺地区</p> <p>○駅前再開発組合の総会（1回）、臨時総会（3回）、理事会（21回）等の実施を支援しました。さらに、解体、本体工事及び補償費の補助金及び負担金を交付するとともに、協議・調整の実施を支援しました。</p> <p>○京急蒲田西口地区まちづくり研究会の総会（1回）、役員・運営委員会（10回）、視察会（1回）、仮囲い活用検討委員会（5回）、広報紙発行（9回）の実施を支援しました。その他、団体活動支援のため団体活動費を助成しました。</p> <p>○センターエリア協議会の総会（1回）、役員会（11回）、広報紙発行（3回）の実施を支援しました。その他、団体活動支援のため団体活動費を助成しました。</p> <p>◎糀谷駅周辺地区</p> <p>○都市再開発法に基づく縦覧を経て、東京都へ権利変換計画認可申請を行い、認可されました。</p> <p>○再開発組合の総会（1回）、臨時総会（3回）、理事会（24回）、関係人説明会（3回）、審査委員会（5回）の開催等を支援しました。</p> <p>○その他の支援として、再開発組合が実施した都市再開発法第90条登記、補償費支払、公共施設実施設計、交通処理計画検討業務について、負担金及び補助金を交付するとともに、解体工事に向けた協議・調整を行いました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>	3	

(前ページからの続き)

◎雑色駅周辺地区

○雑色まちづくり研究会の総会（1回）、運営委員会（15回）、事業実施検討部会（1回）、まちづくりガイドライン意見交換会（2回）の開催を支援しました。

○団体活動支援のため、雑色まちづくり研究会に団体活動費を助成しました。

○雑色まちづくり研究会広報紙、「ぞうしき通信」（4回）、「事業実施検討部会報告」（1回）の発行を支援しました。

○暫定駅前広場整備の検討支援、まちづくりガイドライン案の検討を支援しました。

決算額

5,295,767,714円

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		京浜急行線連続立体交差事業の推進						
主な取組内容		京浜急行線の連続立体交差化により28箇所の踏切を除去し、交通渋滞の解消や、鉄道による地域分断の改善により、まちの活性化や魅力あるまちづくりを推進します。また、本線と空港線が分岐する京急蒲田駅の総合的な改善も行います。あわせて、高架下空間の利用、交差道路の整備についても具体化を進めます。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
鉄道高架化	用地取得		→					
	工事		→					
交差道路・側道整備工事					→			完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【交差道路・側道整備工事】</p> <p>○交差道路（大森町第1踏切）の工事を実施しました。</p> <p>○道路詳細設計（本線付属街路1・2・4・5号、空港線付属街路2号）を実施しました。</p> <p>※事業進捗の遅れのため、事業施行期間を平成 28 年度末までに変更する告示が、平成 26 年 3 月 31 日にありました。</p>	2	
決算額	918,496,070 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	新空港線「蒲蒲線」*の整備促進						
主な取組内容	区民の利便性向上と国際化する羽田空港へのアクセス [*] 機能を高めるため、JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ、新空港線「蒲蒲線」の整備を促進していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
整備事業化に向けた検討							継続
関係機関との協議、調整							継続
区民協議会と連携した促進活動							継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【整備事業化に向けた検討】</p> <p>○新空港線事業における将来の人口減少や航空需要を取り込んだ需要予測値や受益相当額等についての調査を行い、一定の事業性を確認しました。</p>	4	
<p>【関係機関との協議、調整】</p> <p>○新空港線の早期実現に向け、整備の準備資金として「新空港線整備資金積立基金」5億円の積立を行いました。</p> <p>○関係自治体や関係者等に対して、区が関係機関へ行う要請活動に理解と協力をしてもらうために、新空港線整備の意義や見込まれる効果等をわかりやすく示したパンフレット（2,000部）を作成しました。</p> <p>○新空港線の早期整備着手に向けて、副都心線、アジアヘッドクォーター特区関係の6区（港・新宿・品川・目黒・渋谷・豊島区）に対して協力要請を行い、これを受けて大田区を含む7区長連名により、東京都が主導的な立場で新空港線整備を推進することを求める旨の要望書を都知事あてに提出しました。</p> <p>○新空港線整備がエイトライナー・メトロセブンの早期具体化に資することから、エイトライナー・メトロセブン関連区に対して新空港線早期実現に向けた取組みへの協力要請を行いました。</p> <p>○新空港線整備により羽田空港への移動利便性が向上する地域を多く抱える川崎市・横浜市に対して、事業への理解を求めるとともに、協力要請を行いました。</p> <p>○関係者間の早期の合意形成を目指し、新空港線調査に伴う勉強会を開催（1回）しました。</p>	4	

<p>【区民協議会と連携した促進活動】</p> <p>○「新空港線「蒲蒲線」の大いなる可能性とさらなるまちづくりの推進～世界に躍進する国際都市「おおた」をめざして～」をテーマとした講演会を産業プラザ・コンベンションホールで開催（講師：芝浦工業大学工学部土木工学科教授 岩倉成志氏、参加者 283 人）し、来場した区民や関係団体等に対して、新空港線の必要性を周知しました。</p> <p>○平成 24 年度までの調査結果等を踏まえ、新たなパンフレット(2,000 部)の作成及びホームページの更新を行い、区民等への周知活動を行いました。</p> <p>○周知活動では、新たなツールとしてデジタルサイネージを活用し、新空港線事業をより多くの方に理解していただくための機会を増やしました。</p>	4
<p>決算額</p>	<p>512,110,564 円</p>

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名		都市計画道路の整備						
主な取組内容		主要幹線道路間の交通円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区画街路第1号線	用地取得・整備							継続
補助44号線その2	用地取得・整備・測量							残路線 事業着手
補助43号線	用地取得・測量							残路線 事業着手

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【区画街路第1号線－用地取得・整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用地未取得の7画地の内、4画地を取得しました。 ○大田区画街路1号線事業に伴う目黒線蓋かけ工事委託を行いました。 ○電線共同溝（延長約420m）及び道路詳細設計委託（延長約120m）を行いました。 ○電線共同溝整備工事（延長109m）を行いました。 ○復元測量、管理舗装（管理舗装面積80㎡）を行いました。 	4	
<p>【補助44号線その2－用地取得・整備・測量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用地未取得の5画地の内、2画地を取得しました。 ○管理舗装（管理舗装面積61㎡）を行いました。 ○道路修正設計委託を行いました。 ○電線共同溝整備工事（延長300m）を行いました。 	4	
<p>【補助43号線－用地取得・測量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用地未取得の38画地の内、11画地を取得しました。 ○復元測量、管理舗装（管理舗装面積431㎡）を行いました。 	4	
決算額	460,252,859 円*	

*区画街路第1号線については、別の未来プラン事業である「身近な地域の魅力づくり」（P68）と同様の内容です。したがって、決算額の重複を避けるため当該経費は「身近な地域の魅力づくり」のみに計上しています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	コミュニティバス*の導入検討、運行支援						
主な取組内容	区内交通不便地域を解消するため、地域が支えるコミュニティバスの導入を検討するとともに、運行を支援します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
試行運行・運行検証		1地区					
運行支援							検証
導入検証結果を踏まえて運行計画の策定							検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【運行支援】</p> <p>○矢口地区での運行支援のため、利用者の意向に配慮しつつ積極的なPR活動を行いました。また、開通前より要望のあった矢口三丁目地域へのルート延伸を実現しました。</p> <p>○平成 25 年度の乗車人員は 47,262 人（前年度比 2,495 人増）、1 便当たりの平均利用者人数は 6.8 人（前年度比 0.3 人増）でした。</p>	4	

<p>【導入検証結果を踏まえて運行計画の策定】</p> <p>＜利用促進＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者増を目指し、周知活動を充実させました。 ○各種イベントに出展（矢口子どもフェスティバル、環境フェア、おおたふれあいフェスタ、二十一世紀桜まつり）し、周知に努めました。ふれあいフェスタでは、たまちゃんのぬり絵を実施しました。 ○区報、ホームページ、デジタルサイネージ、JCN大田のシティニュースおおたにおけるOTAKARA発見隊コーナー（YouTubeにおいても視聴可）等で広報しました。 ○伸情報を掲載するため、また多摩川七福神やオープンファクトリー、六郷用水の会などの地域イベントに活用できるよう、新「利用案内」を作成しました。 <p>＜サービス水準の改善＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運行5年目時点での利用実態や要望を確認するため、利用者アンケートを実施しました。 ○コミュニティバス作業部会（7回）及び検討会議（1回）を開催しました。 <p>＜事業採算性の向上＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運賃以外の収入増のため、車内広告掲示等を充実させました。 ○地域内企業等へ、車内広告掲載依頼活動を実施しました。 ○有料広告掲載の効果が高まるよう、無料行政関連広報も同時に実施（掲示56種類、配布34種類）しました。 	4
<p>決算額</p>	<p>11,655,532 円</p>

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	自転車駐車場の整備						
主な取組内容	自転車等駐車場を整備し、緊急車両や歩行者などの通行の妨げになっている放置自転車をなくし、安全で安心な魅力あるまちづくりを推進します。						
(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30	
8駅の自転車等利用実態調査を基に駐車場の検討、推進	→						
自転車等駐車場の整備検討	→					継続	
(仮称)大森北一丁目開発による自転車等駐車場設置		→					
京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置		→				継続	

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【自転車等駐車場の整備検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○御嶽山駅前第一自転車駐車場を供用開始しました（収容台数 65 台）。 ○御嶽山駅前第二自転車駐車場を供用開始しました（収容台数 68 台）。 ○蒲田駅西口御園自転車駐車場の一部を機械化し、一時利用を供用開始しました（定期利用 229 台、一時利用 84 台）。 ○蒲田駅東口環八横自転車駐車場を機械化し、一部で一時利用を供用開始しました（定期利用 580 台、一時利用 255 台）。 ○大岡山駅前地下自転車駐車場の収容台数の増設を行いました（収容台数 541 台（36 台増加））。 	4	
<p>【京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場設置】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○京浜急行連続立体交差事業高架下自転車駐車場について、調整・検討を行いました。 ○整備計画における自転車等駐車対策推進のための作業部会を開催し、検討を行いました。 ○高架下自転車駐車場予定地の現場調査を行いました。 	4	
決算額	68,203,622 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-2 快適な交通ネットワークをつくります

計画事業名	京浜急行線連続立体交差事業関連街路の整備						
主な取組内容	京浜急行線の連続立体交差化に伴い、ゆとりある歩行者空間を持つ駅前広場やアクセス*道路等を整備し、京浜急行沿線の魅力あふれるまちづくりを推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
用地取得		→					
アクセス道路等の整備		→					完了 (26年度)
京急蒲田駅東口駅前広場の整備						→	完了 (26年度)

所管部局	連続立体事業本部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【アクセス道路等の整備】</p> <p>○街路設計について、道路詳細設計（大田区画街路第2号線、本線付属街路第4・5号線）、電線共同溝及び道路詳細設計（大田区画街路第3号線、本線付属街路第2号線）を実施しました。</p> <p>○街路整備について、下水道整備工事（本線付属街路第1・2号線）、電線共同溝整備（大田区画街路第2・3号線・本線付属街路第2号線）、街路整備工事（本線付属街路第1号線）を実施し、弾正橋架替工事（補助線街路第328号線）が完了しました。</p>	3	
<p>【京急蒲田駅東口駅前広場の整備】</p> <p>○京急蒲田駅東口駅前広場と京急蒲田駅を結ぶ、大田歩行者専用道路第1号線の整備を国交省川崎国道事務所に委託しました。</p>	3	
決算額	2,546,593,100 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	公園の整備						
主な取組内容	地域環境の改善を図り、防災面での安全性を高め、区民の余暇活動や健康増進に寄与するために、都市に潤いをもたらす公園緑地の整備、拡張を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
田園調布せせらぎ公園	用地取得・整備	→					継続
東糀谷防災公園	整備	→					
東蒲田公園	整備	→					
佐伯山緑地	用地取得・整備	→					完了
馬込自然林緑地	用地取得・整備	→					
一般公園	用地取得・整備	→					検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【田園調布せせらぎ公園－用地取得・整備】</p> <p>○造成工事（どりの坂擁壁）の設計委託（擁壁基本設計、緊急土留め工事実施設計）を実施しました。</p> <p>○造成工事（グラウンド下散策路）を実施しました。</p>	4	
<p>【佐伯山緑地－用地取得・整備】</p> <p>○隣接用地に関する協議確認書を地権者（学校法人佐伯学園）と取り交わしたため、事業期間を2か年延伸し、平成27年度末までとしました。</p> <p>○用地取得（第5/7期、612.77㎡）を行いました。</p> <p>○造成工事（西側緑地整備）は、契約不調による繰越を行いました（平成26年4月に着手）。</p>	3	
<p>【一般公園－用地取得・整備】</p> <p>○用地取得（（仮称）南雪谷五丁目公園用地第3/3期、370.71㎡）を行いました。</p> <p>○4公園（高畑第三児童公園、古径公園（旧称）南馬込一丁目南児童公園）、水神公園、（（仮称）南雪谷五丁目公園）、新井宿第一児童公園）の整備工事を実施しました。</p>	4	
決算額	514,015,796円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	魅力ある公園のリニューアル						
主な取組内容	安全で使いやすい公園とするために、バリアフリー*化を進めます。また、幅広い世代が交流できる場として、高齢者向けの健康遊具*の設置や遊具・設備を更新するとともに、防災機能の向上も図りながら公園をリニューアルします。このほか、魅力ある豊かな自然環境を確保するため、公園緑地の整備や桜の樹木更新などを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
大規模公園のバリアフリー化		→ (8箇所/5年)					継続
健康遊具設置		→ (1箇所/年)					
遊具改修		→ (8箇所/年)					検証
桜の保全・更新		→					検証

所管部局	都市基盤管理部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【大規模公園のバリアフリー化】 ○萩中公園、洗足池公園、平和の森公園、本門寺公園、池上梅園の5公園で整備工事を実施しました。	4	
【遊具改修】 ○大森北青空児童公園、田園調布南公園、宝来公園、久が原光児童公園、竹の子児童公園、多摩川二丁目児童公園、高畑第四児童公園の7公園で遊具改修工事を実施しました。	4	
【桜の保全・更新】 ○洗足池公園の樹木（桜3本）更新工事を実施しました。	4	
決算額	165,115,130 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	呑川緑道の整備						
主な取組内容	呑川の側道に街路樹を植樹するほか、護岸の壁面緑化*を行います。また、路面温度上昇を抑制するため、遮熱性舗装*などで散策路を整備します。 このほか、沿川の歴史と環境を活かした観光スポットとしての観点からサイン計画を策定し、散策路にサインを設置していきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
橋詰部等用地取得		→					
緑道整備		(1,200m/5年) →					検証
サイン整備		→	→				検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【橋詰部等用地取得】 ○用地取得に関する検討を行いました。適地がなかったため、用地取得を行いませんでした。 ○呑川沿道の民間開発の際には、緑道幅員の確保等の指導、協力要請を行いました。	4	
【緑道整備】 ○東雪谷五丁目 36 番先（延長 160m）の整備工事を行いました。	4	
【サイン整備】 ○散策路サイン整備基本設計（平成 26 年度）実施に向けた調整を行いました。	4	
決算額	23,940,000 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-3 潤いとやすらぎのあるまちをつくります

計画事業名	桜のプロムナード*の整備						
主な取組内容	水と緑のネットワークの充実を図るため、洗足流れ・馬込桜並木・内川に至る道路を散策路として整備するとともに、サイン整備を進めていきます。また、馬込桜並木の桜再生(枯損木植替え)を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
散策路整備		→ (800m / 5年)					検証
桜の保全・更新		→					検証
サイン整備				→			検証

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【散策路整備】 ○南馬込五丁目 44 番～四丁目 8 番先 (延長 370m) の修正設計委託を行いました。 ○西馬込一丁目 4 番～18 番先 (延長 140m)、南馬込四丁目 37 番～中央五丁目 1 番先 (延長 170m) の整備工事を行いました。	4	
【桜の保全・更新】 ○洗足池公園で実施した樹勢回復作業委託 (施肥、防虫対策、剪定等) の効果の検証を行いました。	4	
【サイン整備】 ○散策路サイン整備基本設計 (平成 26 年度) 実施に向けた調整を行いました。	4	
決算額	123,429,600 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	鉄道駅舎のバリアフリー *化の推進						
主な取組内容	区内鉄道駅舎のバリアフリー化のためエレベーターが必要な駅舎への設置支援を推進します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
エレベーター設置支援		支援		検討			継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【エレベーター設置支援】</p> <p>○これまで事業者ヒアリング等を通じて状況確認していた西馬込駅について、3月にバリアフリー化工事が完了しました。</p> <p>○鉄道駅の更なるバリアフリー化に向けて、エレベーター未整備駅であるモノレール天空橋駅ほか3駅の状況等について事業者へヒアリングを行いました。</p>	4	
決算額	0円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名		自転車等利用総合対策						
主な取組内容		地球環境にやさしい自転車の利用などについて、区民や鉄道事業者など関係機関と連携・強化を図り、駅周辺の放置自転車や利用者に対する交通ルールの遵守、交通マナーの向上などの対策を協議し、安全で安心なまちづくりを推進します。						
		(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
自転車等利用総合基本計画	協議会開催、検討		→					
	検討、策定			→				
事業推進スケジュール検討・調整					→			継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【事業推進スケジュール検討・調整】</p> <p>○大田区自転車等駐車対策協議会を開催（2回）しました。</p> <p>○大田区自転車等駐車対策協議会の運営支援のため、業務委託を実施し、報告書を作成しました。</p> <p>○池上地区にて自転車走行環境整備（約 650m）を実施しました。</p> <p>○池上地区の自転車走行環境整備に合わせて、自転車走行環境普及基礎調査業務委託を実施し、報告書を作成しました。</p>	4	
決算額	6,038,273 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	だれでもトイレの整備						
主な取組内容	道路や公園などにある公共トイレ(公衆便所や公園便所の一部)の改築や新設にあわせて、誰もが使いやすい「だれでもトイレ」の整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
だれでもトイレの整備	改築	13箇所完了					継続
	新設						継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【だれでもトイレの整備－改築】 ○邦西児童公園便所の改築工事を実施しました。	4	
【だれでもトイレの整備－新設】 ○高畑第三児童公園便所の新設工事を実施しました。	4	
決算額	6,835,158 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-1 水と緑を大切に、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2-1-4 安全で安心して暮らせるまちをつくります

計画事業名	橋梁 [*] の耐震性の向上						
主な取組内容	区が管理する橋梁の中で、緊急道路障害物除去路線 [*] や鉄道を跨ぐ橋梁など防災上重要な橋梁は、計画的に架替・耐震補強整備を進め、災害に強いまちづくりを推進します(今後整備する優先対策橋梁51橋)。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
架替・耐震補強整備		優先対策橋梁のうち19橋完了					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【架替・耐震補強整備】</p> <p>○新馬込橋の架替工事は、当初工程通り（新設橋の上部工架設まで）竣工しました。</p> <p>○仲之橋の架替工事は、予定通り竣工しました。</p> <p>○落橋防止装置及び補修調査設計委託 6 橋（天神橋、清水橋、清水橋添架人道橋、宝来橋添架人道橋、北糶谷橋、東橋）の設計が完成しました。</p> <p>○修正設計委託（本村橋）は、予定通り竣工し、計画協議まで終了しました。</p> <p>○耐震補強工事 3 橋（山王道跨線人道橋、外川田跨線人道橋、宮前跨線人道橋）は、3 か年工事の初年度でしたが、工事着手が大幅に遅れたため繰越明許となりました（遅延理由：設計内容や工事方法、施工手順等の協議の長期化、蒲田駅～川崎駅で起きた脱線事故の影響による安全管理及び作業手順の見直し）。</p> <p>○耐震補強工事 1 橋（清水窪歩道橋）を、予定通り竣工しました。</p>	3	
決算額	669,468,167 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-1 世界へ羽ばたくまちをつくります

計画事業名	にぎわいのある文化交流拠点の整備						
主な取組内容	国内外の多様な文化圏の相互交流を通じてにぎわいを創出する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施							継続
関係機関との連絡調整							継続

計画事業名	世界へ発信する産業支援拠点の整備						
主な取組内容	基盤技術*の集積を誇る製造業などの区内産業の新市場開拓などに寄与する施設を整備します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施							継続
関係機関との連絡調整							継続

計画事業名	水と緑のふれあいゾーンの整備						
主な取組内容	市街地に隣接した親水及び緑地空間を創出して、環境との共生をめざし、潤いややすぎのスペースを整備します。あわせて、地域の防災機能の強化を図る空間としての活用を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施							継続
関係機関との連絡調整							継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【羽田空港跡地まちづくり推進計画に基づいた事業化の検討、実施】</p> <p>○「国際戦略総合特区」に加え「国家戦略特区」制度を活用した規制緩和協議を見据え、産業交流施設の整備に向け、関係機関との協議、事業者へのヒアリング等を行いました。</p> <p>○跡地第 1 ゾーンにおける道路、街区、駅前広場等の検討のため、基盤整備に係る調査業務委託を実施しました。</p> <p>○日本の伝統文化や食、農産品等の「クールジャパン」を世界に発信する機能を検討するため需要調査を実施（328 団体へ送付、153 団体から回答）しました。</p> <p style="text-align: right;">（次ページに続く）</p>	4	

<p>(前ページからの続き)</p> <p>○羽田空港跡地を含め、空港臨海部の都市づくりのあり方について有識者から意見を聴く政策懇談会を開催（3回）し、産業交流施設の機能について検討しました。</p> <p>○産業交流施設計画作業部会を開催（4回）し、産業交流施設の機能について検討しました。</p> <p>○羽田空港跡地基盤整備検討部会を開催（2回）し、跡地の基盤整備について検討しました。</p>	
<p>【関係機関との連絡調整】</p> <p>○「国家戦略特区」創設に向けた国の提案募集において、東京都と協議し、東京都が空港跡地の構想を盛り込んだ提案を行いました。</p> <p>○産業交流施設に導入する産業支援機能及び基盤施設の整備を検討するため、関係機関と協議、調整を行いました。</p>	4
<p>決算額</p>	7,727,449 円

* 「にぎわいのある文化交流拠点の整備」「世界へ発信する産業支援拠点の整備」「水と緑のふれあいゾーンの整備」は一体的に取り組んだため、取り組み内容等が同一の内容となっています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まろ}

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海上公園の移管整備						
主な取組内容	臨海部にある公園のあり方や整備内容について検討を行うとともに、東京都港湾局所管海上公園の移管や再整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部公園整備計画の検討		→					
港湾局移管公園の整備		→					継続

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【港湾局移管公園の整備】</p> <p>○平成 25 年 4 月 1 日付で都立大森緑道公園を区立森ヶ崎海岸公園(名称変更)として移管を完了しました。</p> <p>○3 か所目の対象公園に当たる都立昭和島北緑道公園の移管に向け、東京都港湾局と区の役割分担や工事区分等、基本事項を整理し協議を進めました。また、スポーツ施設を中心とした特色ある公園として活用していく方針を確認しました。</p>	4	
決算額	0 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	海辺の散策路整備						
主な取組内容	海老取川から平和島運河周辺、さらに京浜運河周辺など、臨海部の埋立地を結ぶ緑のネットワークの形成を図るため、水とみどりの拠点整備や散策路整備の検討を行い、関係機関と協力しながら整備を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
臨海部における散策路のあり方検討		→					
散策路計画及び整備手法の検討				→			散策路・拠点整備 検討

所管部局	都市基盤整備部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
<p>【散策路計画及び整備手法の検討】</p> <p>○大森ふるさとの浜辺公園から海老取川までの海辺沿いにおける親水ネットワークの形成に向け、港湾局と「貴船堀、旧呑川における水門廃止と防潮堤及び海辺の散策路整備に関する基本協定」を締結しました。これにより、水門による散策ルートへの分断を解消する具体的な事業手法や都区の役割分担が定まりました。</p>		4
決算額	42,896,700 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2-2 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2-2-2 未来につながる臨海地域をつくります

計画事業名	空港臨海部将来構想の検討						
主な取組内容	臨海部の将来構想を策定し、構想に基づいた土地利用の誘導を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導			→				継続

計画事業名	交通ネットワークの検討						
主な取組内容	臨海部の交通ネットワークについて、観光的側面も考慮しながら、道路網、公共交通機関、舟運を含めた新たな交通システムの検討を進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
空港臨海部将来構想の検討、策定		→					
空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討			→				継続

所管部局	まちづくり推進部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた土地利用の誘導】</p> <p>○空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査を実施し、状況変化に対応した土地利用の誘導・機能更新に向けて分析・課題を深め、重点プロジェクト構想の検討と対策を整理しました。</p> <p>○臨海部 3 島の工業団体に対する前年度の調査報告会（3 回）を開催し、その後、臨海部 3 島連絡協議会の設立準備等を進め、3 月に協議会を設立しました。</p>	4	
<p>【空港臨海部将来構想に基づいた交通ネットワークの検討】</p> <p>○空港臨海部まちづくり・交通ネットワーク等調査を実施し、道路交通実態調査の結果及び周辺道路の整備等の状況変化を踏まえ、道路ネットワークの円滑化に資する具体的な施策及び渋滞対策について整理しました。</p> <p>○水上輸送ネットワークの視点から災害時を想定した「大田区災害時水上輸送計画」を策定しました。</p>	4	
決算額	12,021,500 円※	

※「空港臨海部将来構想の検討」「交通ネットワークの検討」は一体的に取り組んだため、決算額は統合されています。

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	工場の立地・操業環境の整備						
主な取組内容	区内工場の立地・操業環境の向上のため、産業支援施設(賃貸工場、創業支援施設 [*] など)の整備・運営を行い、事業の拡張や高度化のために行う事業に対しては、経費の一部を助成します。また、区が工業用地を取得し、その活用の展開を図ります。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
産業支援施設指定管理者*による運営・支援							継続
ものづくり工場立地助成						検証	継続
工業用地再開発支援(用地取得、活用検討)							
民間型工場アパートの整備・活用					整備支援		
					活用		継続

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【産業支援施設指定管理者による運営・支援】 ○産業支援施設の指定管理者による順調な運営を行いました。 ○平成 25 年度からモニタリング実施手法を見直し、施設所管課における評価を基準とした判断に変更しました。 ○工場アパート（4 施設）、創業支援施設（1 施設）、産業連携支援施設（2 施設）のモニタリングを行い、施設所管課での評価がすべての施設の各項目で「きちんと履行している＝○」となりました。	4	
【ものづくり工場立地助成】 ○ものづくり工場立地助成は、新規に 10 社の企業に助成を実施しました。また、前年度・前々年度から継続して助成を実施した企業は 19 社でした（2 年度目 14 件、3 年度目 5 件）。 ○設備投資助成は、新規に 14 社の企業に助成を実施しました。	4	
【民間型工場アパートの整備・活用】 ○平成 24 年 6 月に整備された東糀谷六丁目工場アパートにおいて、ものづくり工場立地助成事業や企業誘致に取り組み、入居率 100%を達成しました。	4	
決算額	590,826,257 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まろ}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	新製品・新技術開発の支援						
主な取組内容	新規市場開拓等に向けて企業や企業グループが、新製品・新技術を開発する際に、企画・設計から試作・開発までに要する経費の一部を助成します。 大田区中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで技術力・開発力の向上意欲を醸成するとともに、大田区中小企業の技術力を広く内外にアピールします。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
補助金交付							検証
コンクール表彰							検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【補助金交付】 ○開発ステップアップ助成（上限 1,000 万円枠：応募 10 件中 3 件採択、上限 500 万円枠：応募 20 件中 3 件採択）、実用化製品化助成（上限 1,000 万円枠：応募 6 件中 2 件採択、上限 500 万円枠：応募 26 件中 9 件採択）、開発コラボ助成（上限 300 万円：応募 3 件中 2 件採択）の助成を行いました。助成金交付件数は累計 19 件であり、確定額は 72,544,000 円となりました	4	
【コンクール表彰】 ○積極的な募集活動を行い、応募件数は 23 件でした。 ○受賞については、優秀な製品・技術の応募が多く、全ての種類の賞が受賞されました。	4	
決算額	78,357,350 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	海外市場開拓支援						
主な取組内容	区内企業の優れた製品や技術を、アジアをはじめ世界に情報発信し、実際の取引拡大につながるような海外展開を支援します。諸外国・地域の政府機関、産業関連機関、企業団体との交流を積極的に進め、区内企業に対して情報提供等の支援策を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
海外展開支援		→					検証
情報提供等の実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【海外展開支援】</p> <p>○タイのオオタテクノパーク（OTP）は、区内企業 4 社の入居確定後、順調な操業が開始され、当初見込みの 3 倍の受注実績など、全社とも予想を上回る事業活動を行っています。</p> <p>○IT を活用した中国市場展開（15 件）を行いました。</p> <p>○欧州市場開拓のため、区内企業が参加する現地視察や展示会への出展等を実施し、スイス・ボー州との協定締結の準備が行われ、ドイツ・ノルトラインヴェストファーレン州産業労働局との連携がスタートしました。</p> <p>○海外見本市への出展支援を実施しました（タイ・中国・台湾・ドイツ 合計 5 展示会、区内企業 33 社（初出展 27 社））。</p> <p>※ドイツ COMPAMED2013 初出展</p>	5	
<p>【情報提供等の実施】</p> <p>○海外取引相談（413 件）、中国取引相談（365 件）、外国語文書翻訳（57 件）を行ったほか、中国市場勉強会（6 回）、海外取引セミナー（6 回）を開催しました。</p> <p>○中国（5 回）・タイ（6 回）の市場開拓、その他海外市場の調査（5 回）を実施しました。</p> <p>○諸外国との産業交流（国内）を計 41 回行いました。</p> <p>○中国市場に最も影響力を持つ企業団体である台湾電機電子同業公会（TEEMA）の理事企業 40 社を大田区産業プラザに迎えて、区内企業向けに大規模な展示交流会を開催しました。</p>	5	
	（次ページに続く）	

(前ページからの続き)		
<p>○欧州展開が急速に進展し、フランス・モゼール州政府及びオーストリア大使館商務部との産業交流が始まり、区内企業向けのセミナーを実施しました。</p> <p>○米国・テキサス州の地方政府（ベア郡、サンアントニオ市、ヒューストン市）の職員一行が来館し、区内企業との交流会を開催しました。</p>		
決算額	24,486,302 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-1 ものづくり産業を育み、世界に発信します

計画事業名	次世代ものづくり人材の育成						
主な取組内容	小中学生を対象としたものづくり実践教室、産業のまちスクール、子ども起業家育成セミナーを実施し、ものづくりへの興味・関心を促す事業を行います。産業団体の実施する経営・技術指導講習会への補助をはじめ、若者と中小企業のマッチング、次世代経営者育成セミナーなどの人材育成事業を実施します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
講座・セミナーなどの開催							検証
講習会などへの補助							検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【講座・セミナーなどの開催】</p> <p>○小中学生のものづくりへの興味・関心を促すため、ものづくり実践教室 I（参加者 200 人）・II（参加者 40 人）、産業のまちスクール（参加者 50 人）等を開催しました。</p> <p>○人材育成のため、技術指導講習会（8 講座、参加者延べ 127 人）、次世代経営者育成セミナー（3 回、参加者延べ 36 人）を開催しました。</p> <p>○各種講座・セミナーの参加者のアンケート調査において、以下の高評価を得ました（「満足」「ほぼ満足」の割合）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術指導講習会（70%） ・新規人材育成セミナー（96%） ・次世代経営者育成セミナー（87%） ・産業のまちスクール（96%） ・ものづくり実践教室 I 「小学校 1～4 年生対象」（99%） ・ものづくり実践教室 II 「小学校 5・6 年生及び中学校 1・2 年生」（100 %） 	4	
<p>【講習会などへの補助】</p> <p>○上記の講座・セミナーに加え、工業団体実地研修会（11 回（団体））、工業団体経営革新支援事業（16 回）等、研修会、講習会への助成を行いました（累計 41 件）。</p>	4	
決算額	21,460,440 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 暮らしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街景観整備事業						
主な取組内容	商店街関係者、地域住民、NPO*、コンサルタントなどにより協議会を組織し商店街の役割を見直し検討するとともに、歴史や文化に特徴を持つ商店街の景観整備を行い、にぎわいのあるまちづくりを進めます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
候補地A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施		→					
候補地B 協議会設立、実施計画検討					→		検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【候補地 A 協議会設立、実施計画検討・策定・実施】 ○ミハラ商店街へ竣工後の支援として、イベント事業（4 回）を支援したほか、イベント内容や組織の法人化などに関する定例会（5 回）、中小企業診断士派遣（10 回）を実施しました。	4	
【候補地 B 協議会設立、実施計画検討】 ○新たな候補地への支援として、景観整備事業の進め方や補助金申請に関する定期的な勉強会への参加（1 回、参加商店会役員 10 人）及び情報提供（6 回）、専門家派遣（8 回）を行いました。また、先進事例への視察（会津若松七日町通り商店街）を行いました。 ○そのほか、景観整備事業の 3 か年スケジュールと、専門家による参道イメージ図の作成を行いました。	4	
決算額	216,000 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	ふれあい商店街事業						
主な取組内容	商店街内に新たなコミュニティ*空間、高齢者に優しいまちを創出するため、商店街会館及び空き店舗などを活用します。お休み処・トイレなどを整備し、来街者のために開放します。提供する商店街に対しては、運営費の一部を補助します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26~30
実施商店街		2箇所	1箇所	1箇所	1箇所	検証	継続

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【実施商店街】</p> <p>○ミハラ地区の平成 25 年度の「お休み処」の開設については、維持費用を賄うだけの事業計画が立てられなかったとの理由から見送りました。</p> <p>○すでに開設している長原商店街、雑色商店街、矢口渡商店街、日の出銀座商店街、梅屋敷東商店街、大森柳本通り商店街に対し、お休み処の運営費の一部を補助しました。</p> <p>○お休み処の 6 年目以降の利用促進について当面の方針を定めました。</p>	3	
決算額	6,297,000 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	商店街イベント・機能向上の支援						
主な取組内容	商店街が自ら企画し実施するイベントや商店街の機能向上のための事業に対して、必要な経費の一部を助成します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
商店街への助成事業実施		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容		進捗状況
【商店街への助成事業実施】 ○商店街が実施し、地域住民が参加でき販売促進の効果が期待できるイベント事業に助成を実施（164 事業、81 商店街）しました。 ○商店街が実施する商店街の環境整備で集客効果が期待できる活性化事業に助成を実施（10 事業、10 商店街）しました。		4
決算額	153,095,400 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	おおた商い観光展の開催						
主な取組内容	広く区内外の事業者等に呼びかけ、各地域の銘品・逸品(食品・工芸品など)の展示・販売を行うとともに、区内の観光情報の発信や逸品認定発表を行い、「大田区の観光資源」を全国に向けて発信する「おおた商い観光展」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
おおた商い観光展の開催		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【おおた商い観光展の開催】</p> <p>○区内の商店・企業・団体を中心に、『商い・観光・匠』といった大田区の魅力 を来場者に紹介しました(来場者数 8,465 人、出展者数 128 商店・ 企業・団体(125 小間))。</p> <p>○併催イベントとして、「おおたの逸品認定表彰式」、「OTA!いちおし グルメ表彰式」、「シネパラ蒲田～第 1 回蒲田映画祭～」などが開催さ れました。</p> <p>○出展者によるワークショップや、出展者向けセミナー・いいね!グラ ンプリ・マイバッジ・地図入りガイドマップなど、会期後の出展者の 店舗売上増を図る工夫を行いました。</p> <p>○東日本大震災復興支援として、宮城県石巻市・岩手県・福島県・茨城 県から 6 社・団体が出展しました。</p>	4	
決算額	10,404,396 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まろ}都市
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-2 くらしを支えるあきないを熱く盛り上げます

計画事業名	サービス業実態調査とマッチング支援						
主な取組内容	情報サービス、物流サービス、専門サービス(コンサルティング、財務、法務)などビジネスを支援するサービス産業や、区民の生活を応援する生活関連サービスに関する調査を実施し、その活動状況や課題を把握します。その上で、製造業や商業の顧客獲得や生産性の向上、区民生活の利便性の向上に貢献するサービス産業の支援を検討します。また、ビジネス支援・生活関連サービス分野のNPOや社会起業家の活動の把握・支援を検討します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
実態調査の実施、支援策の検討		→					
ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施				→			検証
NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施				→			検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【ビジネス支援サービス・生活関連サービス業の支援の実施】 ○大田区融資制度の拡充に向けての情報提供として、区報（4 回）に掲載しました。 ○あきない・サービス系産業団体等経営革新支援事業として、講習会等への助成（24 回）を行いました。 ○商業版産業情報誌「あきNOW」を発行（1 回、9,000 部）しました。商業・サービス業向け支援制度を利用企業の実例レポートでわかりやすく紹介し、区内対象業種企業等に配布しました。	4	
【NPO・社会起業家の活動状況の支援の実施】 ○経営改善や新規事業・販路開拓等に取り組む企業等に、専門知識を有する人材を派遣し、問題解決をサポートするビジネスサポートサービスの周知活動の充実を図るとともに、国の補助金事業への参入支援が相乗効果を上げ、相談件数は 597 件でした。 ○ビジネスプランコンテストの拡充を行ったところ、事業の周知活動の充実と創業に関する事業の相乗効果で、51 件の応募を得ました。 ○創業相談 37 件に対応しました。	5	
決算額	13,645,302 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	にぎわいを生み出すスポットづくり						
主な取組内容	観光推進団体と連携しながら、区内の面白スポットなどを発掘し、新たな観光コースとして紹介することで、観光資源として活かしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
スポットの発掘・整理							検証
新たな観光コースづくり							検証
観光コースのPR							検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【スポットの発掘・整理】 ○近代映画発祥の地である蒲田を中心としたまちおこし事業「シネパラ蒲田」を実施し、旧松竹キネマ蒲田撮影所があった当時に撮影された映画の上映会等を行いました（7会場で実施、参加者約 4,900 人）。	4	
【新たな観光コースづくり】 ○大田区の魅力を再発見していただけるよう、区内の名所をテーマ毎に巡るツアーを実施（6回、参加者延べ 1,152 人）しました。	4	
【観光コースのPR】 ○東京都庁観光情報コーナーのPRブースにて、観光関係のパネル展示や、マップを配布しました。 ○「おおた商い観光展」にて、観光スポットの紹介・展示や観光まちづくり団体の紹介、マップやパンフレットの配布を行いました。	4	
決算額	32,933,000 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	ものづくりのまち体験ツアーの実施						
主な取組内容	観光推進団体と連携し、区内の工場の協力を得て、観光客がものづくりを体験できる環境を整備し、「ものづくりのまち体験ツアー」を開催します。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
事業化に向けた検討		→					
体験ツアーの実施			→				検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
<p>【体験ツアーの実施】</p> <p>○商店街や黒湯温泉、羽田空港等既存の観光資源に、新たに町工場や物流・環境等産業施設を加えた、団体向けの「大田区産業観光モニターツアー」を実施（3回、参加者延べ78人）しました。</p> <p>○町工場の雰囲気をもっと身近に感じてもらうため、簡易な体験や講演等ができるような産業観光交流施設「くりらぼ多摩川」を開設しました。上記モニターツアー、子どもを対象としたモノづくり塾の会場（10回、参加者延べ33人）、事業者がトークをする町工BAR（2回、参加者延べ24人）等に利用しました。</p>	4	
決算額	15,154,244 円	

基本目標 2 まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市^{まち}
 個別目標 2-3 ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
 施策 2-3-3 大田区の観光を世界に発信します

計画事業名	シティセールス*の実施						
主な取組内容	羽田空港の国際化に対応するため、空港乗り入れ都市(海外を含む)などに対し、多言語で大田区の観光資源を情報発信していきます。また、区内の観光情報をPRするため、積極的にメディア展開をしていきます。						
	(平成/年度)	21	22	23	24	25	26～30
区内情報のPR		→					検証

所管部局	産業経済部	
平成 25 年度の取り組み内容	進捗状況	
【区内情報の PR】 ○大田区の観光の魅力を総合的にPRする多言語パンフレット（発行部数：日本語 10,000 部、英語 5,000 部、韓国語・繁体字・簡体字各 2,000 部）を作成しました。作成に当たっては、来～る大田区大使等との意見交換を行い、海外の方にとってより使いやすいものとなるよう、日本語版と外国語版のデザインを変えるなどの工夫をしました。	4	
決算額	20,778,135 円	